



左から3人目、2,000mに出場した福士晃さん（郷沢）

# 第54回青森県民体育大会 陸上部大健闘！

広報

よもぎた



1999 No. 286

- CONTENTS
- コミュニティバス運行！
  - 玉松海まつり'99
  - 保健コーナー
  - カメラアイ
  - 川柳北緯41
  - お知らせ情報局
  - 児童川柳ペンシル®
  - 行事予定表
  - 戸籍の窓口

# 村内どこまで乗っても100円です コミュニティバス運行!



七月一日から村内を路線運行しているコミュニティバスの運行記念式典が、七月十九日、物産館前駐車場で関係者三十人出席のもと行われました。

式典では古川正隆村長が「村の主要機関を結ぶ路線バスは、村民の願いでもありました。高齢化が進む中、村民の足として活用していきます。」とあいさつしました。そして運転手を代表し佐井勝治さんが「運行するにあたり、交通事故のない、明るい、住みよい村づくりを目指します。」と安全運転宣言を読み上げました。また、関係者六人によ

るテープカットと同時に、くす玉を割って、どこまで乗っても一人百円の新しい村民の足の誕生を祝いました。

村では昨年の四月から、中沢から高根までを結ぶ約十二キロの路線で、蓬田診療所への通院用とした患者輸送バスを運行していました。しかし、午前中二往復だけの運行で患者以外は利用できず、日曜日と火曜日は休みでした。

コミュニティバスは村内十六・五キロで四十カ所の停留所を結び、午前八時から午後五時十分まで五往復を運行します。

# 玉松海まつり'99

## どっと5,000人繰り出す



「玉松海まつり'99」が八月一日、玉松海水浴場において行われ、五千人を超す海水浴客やゲーム参加者でにぎわいました。

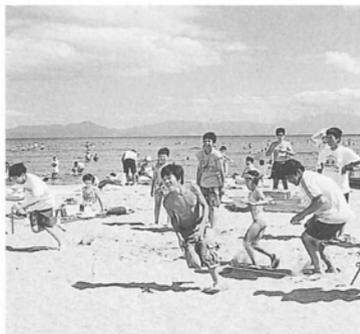
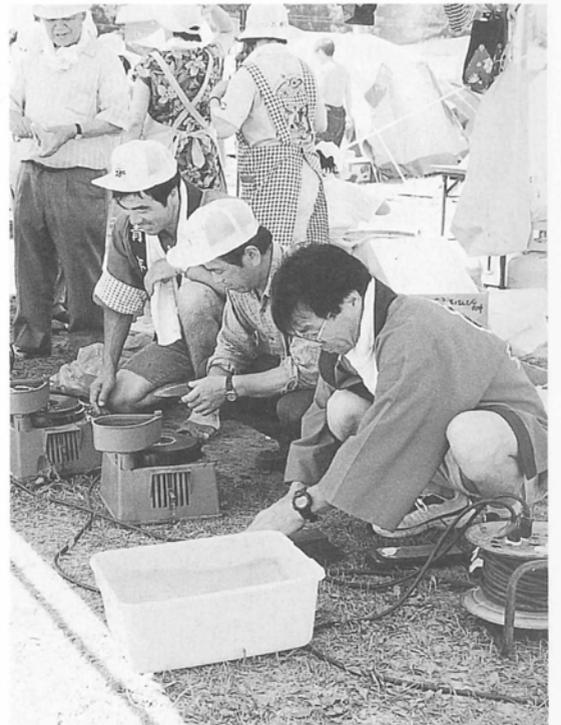
真夏の晴天に恵まれたこの日、主催者の中村政一村観光協会会長あいさつの後、花火の合図とともに宝さがしゲームが始まり、砂浜に埋められた封筒に賞品を書いた紙が入っていて、参加者はテントやクーラーボックスなどの夏にふさわしい品物を手に入れて歓声をあげていました。

引き続き、今回から新しく加わった地引き網では、子ども会が中心となって網を引き、網に入った魚は、連合婦人会や農協女性部の皆さんの手により、磯鍋としてみんなに振る舞われ、大変喜ばれました。

また、村建築組合の組合員によるヒバから作られたまな板の販売や無料包丁研ぎのコーナーが設けられ、日ごろの腕を発揮していました。

その他にも、爆弾ゲーム、ラムネ早飲み大会、浮輪っこぎレース、変則ビーチフラッグス等、多種目の競技が行われ、参加者たちは賞品を手に入れるため、炎天下の中、汗だくになりながら頑張っていました。

建設省青森工事事務所主催で行われた抽選会も豪華な賞品が多数用意され、長蛇の列となり大好評でした。同時に青森海岸の歩みをパネルにした写真展では、変わりゆく海岸を熱心に鑑賞していました。



# 「蓬田村在宅介護教室」開催

## ～老人疑似体験装具をつけて、80歳の高齢者に変身～



疑似体験に入る前に説明を受けました

平成十一年六月から蓬田村在宅介護教室を長科公民館と瀬辺地民生会館を会場に四回シリーズで夜間開催しています。この介護教室は昨年引き続き、青森県で推進している「まごころケア推進事業」の趣旨に基づき、一人でも多くの村民が看護や介護の心と技術を身につけ、お互いに助け合い、支え合える村づくりをモットーとしています。

第一回目の介護教室は六月に開催され、内容としては蓬田村保健福祉サービス及び介護用品の活用についての講話がなされました。

第二回は七月二十六日に長科公民館、八月二日に瀬辺地民生会館で開催し、

高齢者を介護する時の心構えとポイントについて講話があった後、青森保健所の保健婦を講師に「八十歳の老人は日ごろどのような状況で生活しているのか」を知るため、参加者が高齢者の疑似体験を行いました。内容については次の通りです。

### 《疑似体験内容》

高齢者の身体的特徴である耳の聞こえにくさ、目の見えにくさ、前かがみの姿勢、筋力の低下、関節の拘縮、手指の感覚低下、つまずきやすい等の状態を再現するため、耳栓、特殊眼鏡、荷重チョッキ、肘・膝のサポーター及び重り、手の機能を制限する手袋、靴型のサポーター等を装着します。

装着したままで、歩行、階段の昇降、字を書く、缶ジュースのふたを開ける、お菓子の袋をあける、電話をかける、人との会話等日常何気なく私たちが行っている動作をやってみて、生活のしづらさがあるかを体験してみました。



コップに水を入れるのも一苦労

### 《疑似体験の感想》

- ・お年寄りにとつて普段の生活動作一つ一つがこんなに大変なものとは思わなかった。
- ・これからはもう少し、お年寄りのペースに合わせてたり、よく話を聞いてあげたりして、お年寄りを大切にしていきたい。
- ・耳栓と特殊眼鏡で耳と目の不自由さだけを体験したが、これだけでもかなりの行動が制限されるので、

お年寄りが動作が緩慢なことは仕方ないことだなあと感じた。

老人疑似体験を實際体験した人や介助者役をやった住民からこのような感想が寄せられました。この疑似体験により、参加者は高齢者への理解を深めることができたのではないのでしょうか。第三、四回目の介護教室を引き続き、八月と九月に開催予定です。

平成十一年四月一日現在の蓬田村の高齢者人口（六十五歳以上の人口）は、二十四%を超えています。少子高齢化社会が現実問題として浮き彫りにされている今、高齢者の介護・看護に関する問題は重要です。少しでも興味のある方は次回の介護教室から足を運んでみてはいかがでしょうか。



いつもは簡単に  
上げる段差なのに...

# カメラ アイ



## 子ども会リーダー研修会

7月27日、村中央公民館主催の子ども会リーダー研修会が、2泊3日の日程で玉松海水浴場を主会場に行われ、各地区子ども会から推薦された小学5年から中学2年までの13人が、リーダーとしての役割や心構えについて学びました。

子どもたちは、テント設営や炊飯、ナイトウォークなどを行い、特に八甲田登山では小雨の中、みんなで八甲田大岳の頂上を目指して一生懸命がんばりました。

また、三内丸山遺跡では、ミニ土偶作りに挑戦し、出来栄を競い合いました。

雨天のため、メインイベントのキャンプファイヤーはできませんでしたが、最後の夜は歌やゲームで最高の盛り上がりを見せ、子どもたちは3日間の研修会を有意義に終えました。



## 村老人スポーツ大会



7月7日、農業者トレーニングセンターで、第13回村老人スポーツ大会が行われました。

午前10時から始まった大会には、村内7つの老人クラブ員、約200人が参加し、パン食い競争やタイヤ転がしなど10種目の競技に熱戦を繰り広げました。

競技結果は次のとおりです。

- 優勝 広瀬 松寿会
- 二位 蓬田 寿楽会
- 三位 阿弥陀川 白寿会

また、7月2日開催されたゲートボール大会は、4チームのリーグ戦で行われ、優勝が蓬田チーム、2位中沢チーム、3位瀬辺地チームでした。

41°  
川柳北緯

- ふきのとう 出番を知って 顔を出す
- ハウス造り 今は忘れた 匂の味
- 鱈漁の 小屋で車座 じゃっぱ汁
- 匂を売る 朝市村の すぐれもの

お 飄 昭 絹  
富 一 夫 枝

- 老夫婦 雪掻き褒美 振興券
- ふきのとう 会いに来ました この土手に
- トンネルを 抜ければ匂の 香りする
- 市場には 四季を知らない 匂の山

蓬 樞 咲 藤  
石 吾 子 正

今年のもぎた産葉まつりには、RAB「スバギャン深夜同盟」が取材に来ます。その他、各種展示会もありませんので、ぜひご来場ください。

## 看護力再開発講習会参加者募集

平成4年「看護の人材確保」に関する法律が制定されて以来、青森県でも保健婦（士）・助産婦・看護婦（士）・及准看護婦（士）の免許所有者で、看護業務に従事していない者に対して、最近の看護の知識及び技術を習得させ、職場復帰を容易にし、看護職員確保に資することを目的にこの事業を行っております。

当看護協会では、この講習会により多くの看護職に参加してもらい、医療・福祉の担い手としての資格を生かすことを望んでいますので、皆さんの参加をお待ちしております。

○日時・場所：八戸市立市民病院 10月4～8日 9：00～15：00

青森市民病院 10月25～29日 9：00～15：00

○対象：保健婦（士）・助産婦・看護婦（士）・准看護婦（士）の免許所有者で現在就業していない方

○内容：最近の医療と看護についての講義と実習

○参加料：無料

○申し込み：9月30日（木）まで

【お問い合わせ先】

青森県看護協会・青森県ナースセンター ☎0177-23-4580

## 蟹田警察署からのお知らせ

7月11日、今別町「眺海の森林」において“熊”が目撃され、今別町による調査の結果、その排せつ物から“熊”であることが判明しました。

当地方には、長い間“熊”は生息していないというのが定説になっておりましたが、今回の“熊目撃”は、この定説を覆すものとなりました。

目撃地点が地域住民や観光客の集まる場所であることは、山菜採りはもちろんのこと山で仕事をする方、キャンプ等で山に入り楽しむ方々にとりましても、熊に遭遇する危険性があります。また、今別町で目撃されたことから蟹田・蓬田・平館・三厩でも、山の中で生息している可能性が大きくなりました。

山菜採り、キャンプ、登山などで山に出かけるときは、十分に注意してください。

【お問い合わせ先】

山岳遭難防止対策協議会蟹田支部・蟹田警察署

☎0174-22-2211



## お知らせ

# 情

# 報

# 局



## 蓬田村役場庁舎の直通電話について

役場では、庁舎内の各課（室・局）に直接つながる、ダイヤル直通電話に改良しました。お問い合わせ先（担当課）がわかりやすい場合は、大変便利です。どうぞご利用ください。

総務課	0174-27-2111	(代表)
FAX	27-3255	(各課共通)
住民課	27-2112	
税務課	27-2113	
福祉課	27-2114	
農林水産課	27-2115	
建設課	27-2193	
企画課	27-2194	
水道課	27-2195	
出納室	27-2196	
議会事務局	27-2197	
農業委員会	27-2198	
学校給食センター	27-2129	

休日、夜間は27-2111へ（守衛が応対します）

※役場の電話回線は、従来どおり5回線ですから、込み合っているときはしばらくしてから、おかけなおしてください。

※教育委員会は、ふるさと総合センターに移転しました。

電話番号31-3111・31-3200

FAX31-3112

## 違います！車検と定期点検

車検が済んだからと安心せずに、日ごろから点検を心がけ、定期点検整備はキチンと実施しましょう！

自動車は、私たちの生活に非常に大きなかわりをもち、今や必要不可欠な存在となっております。反面、交通事故の増加、自動車による公害といったさまざまな社会問題も起きています。

また、平成7年7月改正車両法が施行され、自動車の保守管理責任は使用者にあるということが明確にされるなど、従来にも増して自動車の適正な保守管理が重要となってきております。

このような状況から、運輸省では、自動車の保守管理の徹底を一層強力に推進するため、「自動車点検整備推進運動」を実施します。

○運動期間：平成11年9月1日～平成11年10月31日

【お問い合わせ先】

東北運輸局（検査整備110番）

☎022-299-8855

青森陸運支局（整備課）

☎0177-39-1506

# ペンシル



題「黑板」  
天位 3年  
坂本 雄大さん

●佳作

こくばんがいつも書かれてけされてる  
授業中みんな黒板集中だ

こくばんとちよーくんはしんゆうさ  
こくばんはしゃべれないけどつうじるよ

こくばんにあさとかえりにごあいさつ  
こくばんのらくがきたちは生きてる

こくばんのらくがきたちは生きてる  
じしゃくがね私にとつてアクセサリー

黒板はじゅぎょう中の伝言板  
こくばんは思い出いつばいつまつてる

黒ばんになにかのゆめがかくれてる  
こくばんはこくばんけしとともだちだ

こくばんは地球にやさしいいい色だ  
こくばんはいつもはたらきこくろうさん

黒板は遊び物ではないんだよ  
こくばんにいのちさずけてしごとある

こくばんはすこくおおいノートだよ  
こくばんはみんなのころあつめてる

黒板はもじともじとでねかくれんぼ  
こくばんは小学校のれきしみてきてる

こくばんはせきをたたないすごいやつ  
こくばんはなにからできてくるのか

黒板に歴史たくさん残したい  
黒板に「春」と書いたら「冬」だった

●五客

3年 坂本 雄大

3年 清水 大

3年 久慈 和弥

4年 小嶋 佑斗

3年 柿崎衣里加

3年 稲葉 絢美

4年 細谷 陽子

3年 高木 麻希

4年 八戸有佳李

6年 坂本 宣仁

3年 坂本 雄大



選評 傘松川柳同好会長

わがやき蓬石  
ほつせきいし

今回は、三〇〇の黒板が集まりましたが、落書きをしておこられたというのが大部分でした。黒板が空に見えたり、海や原っぱに見えても良かったのになあ。川柳は、短い文章ですから、説明や報告をしない方がいいですね。五七五をいっばいに使って、読んだときパツと絵が見えてくるようにつくってください。人位 見る目、見方はいいのですが、もう少しふうふうしてください。「何かから」でなく、チョコレットでできていたなんてことになったら、楽しいですよ。

地位 「歴史を残したい」で、決まりました。せんばいたちの作った歴史に、ページをどんどんたしてください。

天位 「春」だと思っていたら、もう「冬」だった。という句だと思えます。映画みたいに、スパツと場面をかえて見せてくれました。題の「黑板」を使って、自分の感じたことを素直に書いてください。

## テレホンガイド

役 場	27-2111	トレセン	27-3010
FAX	27-3255	よもぎ温泉	27-2170
教育委員会	31-3111	中央公民館	27-2076
FAX	31-3112	保育所	27-2180
ふるさと総合センター	31-3200	幼稚園	27-2042
		小学校	27-2069
マルシェよもぎた	31-3040	中学校	27-2038
		社会福祉協議会	27-2828



9 SEPTEMBER

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

## 9月行事予定表

開催日	曜日	行 事 名	場 所	時間	担 当
9/1	水	陶芸教室	ふるさと総合センター	9:00	中央公民館
6	月	書道教室	中央公民館	13:30	"
8	水	陶芸教室	ふるさと総合センター	9:00	"
12	日	第8回デュアスロンinよもぎた大会	総合グラウンド	11:00	観光協会
13	月	書道教室	中央公民館	13:30	中央公民館
14	火	敬老会	トレセン	10:00	福祉課
15	水	第7回青森県民駅伝競走大会	青森市(八甲田丸スタート)	12:00	社会教育課
20	月	書道教室	中央公民館	13:30	中央公民館
22	水	陶芸教室	ふるさと総合センター	9:00	"
"	"	狂犬病予防注射	村内一円		福祉課
26	日	パッチワーク教室	ふるさと総合センター	10:00	中央公民館
27	月	書道教室	中央公民館	13:30	"
29	水	陶芸教室	ふるさと総合センター	9:00	"

# 戸籍の窓



## 人口と世帯数 (7月31日現在)

総人口 3,710人  
 男 1,770人  
 女 1,940人  
 世帯数 1,091世帯

## 7月受付分

### お誕生おめでとうございます

中川 幸太郎 (貴世仁子) 長男  
 福井 善一 (明智彦美) 長男

### おくやみ申し上げます

野藤 幸雄 (阿弥陀川 77歳)  
 佐井 武男 (広瀬 84歳)  
 坂本 米作 (長科 101歳)  
 坂本 幹人 (中沢 38歳)



電気器具の清掃は丁寧に  
 (財)東北電気保安協会

# 27年ぶりに開催された 長科稲荷神社大祭



長科稲荷神社が大鳥居の建立に着手し、四月に完成したのを機会に、二十七年ぶりに長科稲荷神社大祭が、七月三十一日夜祭(宵宮)、八月一日大祭(神楽)と二日間に行われました。前夜祭は金魚すくい、綿あめ、たこ焼きや焼きそばなどの出店が軒を連ね、大勢の親子連れでにぎわいました。子どもたちは花火に興じ、ステージではカラオケや長科地区の高校生によるバンド演奏などが行われ、稲荷神社は拍手や笑い声に包まれました。また、大祭では神楽を奉納し、地区の交通安全、家

内安全、五穀豊穡、さらには無病息災を祈りました。その後、隣組による踊りや後潟同志会の新劇が行われ、祭りは最高の盛り上がりを見せました。

